

目次

第 1 部	はじめに	1
第 1 章	本研究の意義と目的	3
第 1 節	本研究の意義	3
第 2 節	本研究の目的	3
第 2 章	本研究の枠組み	5
第 1 節	本研究の構成と概要	5
第 2 節	本研究で取り扱う概念の整理と関連用語の定義	7
第 2 部	感情を扱った従来の一過性運動研究	10
第 3 章	運動固有ではない感情尺度を使用した研究	11
第 1 節	否定的感情の測定尺度	11
第 2 節	否定的感情の測定尺度の問題点	13
第 3 節	肯定的・否定的感情の測定尺度	17
第 4 節	肯定的・否定的感情の測定尺度の問題点	18
第 5 節	運動固有の感情尺度を開発する必要性	19
第 4 章	運動固有の感情尺度を使用した研究	21
第 1 節	運動固有の感情尺度	21
第 2 節	運動固有の感情尺度を用いた研究	27
第 3 節	運動固有の感情尺度の問題点	42
第 4 節	運動固有の感情尺度が備えるべき条件	49
第 3 部	一過性運動固有の感情尺度の開発	50
第 5 章	一過性運動固有の感情尺度の作成	51

第 1 節	予備調査	51
第 2 節	本調査	52
第 6 章	感情尺度の信頼性・妥当性の検討	59
第 1 節	信頼性の検討	59
第 2 節	内容的妥当性の検討	59
第 3 節	構成概念妥当性の検討（検証的因子分析）	60
第 4 節	因子妥当性の検討（多母集団同時分析）	61
第 5 節	判別妥当性の検討（ウォーキングに伴う感情の変化）	67
第 4 部	一過性運動に伴う感情の変化	71
第 7 章	一過性運動による感情改善効果の確認	73
第 5 部	運動に伴う感情変化の関連要因	86
第 8 章	運動様式の違いによる感情変化の比較（実験室場面）	87
第 9 章	運動様式の違いによる感情変化の比較（運動教室場面）	102
第 10 章	運動に伴う感情とセルフ・エフィカシーとの関連	109
第 6 部	総合論議	118
第 11 章	本研究で得られた知見	119
第 12 章	一過性運動の心理学的研究に関する将来展望	122
	引用文献	125